

# 特別養護老人ホーム ひまわりの郷 褥瘡予防に関する指針

## 1. 特別養護老人ホーム ひまわりの郷施設における褥瘡発生予防に関する基本的考え方

高齢者は、低栄養状態や活動の低下、疾病に伴う寝たきり状態に陥りやすく、褥瘡が発生するリスクがあります。特に施設を利用しておられる方には、加齢に伴い心身の機能が低下している多くおられ、そのリスクは高いと思われます。

ひまわりの郷ではこうしたリスクを持つ利用者の健康で尊厳ある生活の実現のため、多職種協働の基、質の高いサービスの提供を目指して指針に従い、褥瘡発生予防に対する体制を確立し、褥瘡が発生しにくい、また褥瘡が出来た場合の対応を策定し、適切な介護を目指します。

## 2. 褥瘡発生予防に向けての基本指針

### (1) 褥瘡発生予防に対する体制の整備

褥瘡発生予防と早期対応のため、褥瘡予防対策委員会を設置し、具体的な対応については委員会で検討する。

### (2) 多職種協働によるチームケアの推進

各職種の専門性に基づくアプローチから、チームケアを行うことを基本とし、それぞれの果たすべき役割に責任を持って対応する。

### (3) 職員に対する教育・研修

褥瘡発生予防に対する知識の習得、施設の方針の徹底、情報の伝達等を目的として、資料配布や研修会等を定期的実施し、職員の教育に努める。

また外部の研修会にも積極的に参加し、知識・技術の習得に努める。

## 3. 褥瘡発生予防に対する体制の整備

### (1) 褥瘡対策委員会の設置

#### ① 設置の目的

利用者の褥瘡発生予防に努め、発生時における苦痛の緩和と早期治療、及びケア提供を適切に行うことを目的とし、褥瘡対策委員会を設置する。

#### ② 褥瘡対策委員会の構成

- ・生活相談員・ケアマネジャー
- ・機能訓練士
- ・看護職員(1名)
- ・介護職員(ユニット各1名)
- ・管理栄養士

#### ③ 褥瘡対策委員会の開催

対象者がいる場合、1ヶ月に1回開催。

必要時には随時開催。

#### ④ 褥瘡対策委員会の役割

- 褥瘡予防及び発生時に向けた対応の検討
- 各種マニュアル、様式等の見直し及び追加
- 適切な福祉用具(車椅子・マットレス等)の選定
- 状態の把握及び早期治療へ向ける為の周知徹底

#### 4.褥瘡発生予防に関する各職種の役割

(施設長・介護部門長) 褥瘡発生予防の総括管理  
(医師)・・・嘱託医 定期的な診察・処置方法の指示  
各協力病院との連携を図る

(看護職員)

医師又は協力病院との連携を図る

褥瘡処置への対応

(機能訓練士)

個々に応じた体位変換、安楽な姿勢確保の工夫

褥瘡発生予防の計画立案

職員への指導

(栄養士)

褥瘡の状態把握と栄養管理

栄養ケアマネジメントにおける状態の把握と利用者の管理

食事摂取低下に伴う栄養保持の工夫

医師・看護職員との連携を図る

職員への指導

(生活相談員・介護支援専門員)

家族への対応

褥瘡発生予防の取り組みと体制づくり

(介護職員)

きめ細やかなケアと衛生管理に努める

ケア計画に基づく排泄、入浴、清潔保持

個々に応じた体位変換、安楽な姿勢確保の工夫

褥瘡の状態観察と記録の把握

苦痛を排除する精神的緩和ケアとコミュニケーション

褥瘡発生予防の取り組み

#### 5.職員に対する教育・研修

より質の高いケアを提供するにあたり、基礎知識と技術を身に付けることを目的として、委員会を中心とした施設内研修会を開催するとともに外部研修会への積極的参加を図る。

① 定期的な教育・研修の実施

② 新入職員に対する褥瘡発生予防の教育・研修の実施

③ その他必要な教育・研修の実施

制定：令和2年11月1日